



吉田 稔 筆

令和5年10月 No.146

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内
☎ 04-7174-7211



みんな元気 住んで良かった この地域

防災体験学習 - 72時間をどう生きるか

防犯防災部

防犯防災部は部員の防災に対する知識と意識の向上を図るべく、8月24日(木)、東京都江東区有明の東京臨海広域防災公園にある「そなエリア東京」の体験施設でガイド付き「東京直下72h TOUR (72時間ツアー)」の体験学習をしてきました。

国や自治体などの公助の支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は、3日間(72時間)とされています。また、30年以内に南関東でマグニチュード7クラスの地震が起こる確率は70%とされています。「東京直下72h TOUR」はマグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発生から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えな

がら生き抜く知恵を学ぶ体験学習ツアーです。音響、照明、映像により余震が繰り返される実物大のジオラマの中を、クイズで注意事項を確認しAR映像を見ながら指定された避難場所へ移動しました。

大切なのは日頃の備えです。このような体験から生き抜く知恵を少し学べたと思います。過去に何回か防災講演などを実施してきましたが、このような体験を通し肌で感じることで、より防災の意識が高まると思いました。同様な思いは参加した部員も感じたようです。自分の町・自治会にその思いを持ち帰り、防災会などで紹介する機会があれば住民の防災行動力が高まると期待します。

防犯防災部 志水 房夫



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです

増尾東映第二自治会

増尾東映第二自治会は閑静な住宅街に現在142世帯が住む自治会です。昭和40年代に造成され分譲が行われた地域のため、最近では建て替えや転居及び転入も進んでいます。高齢世帯が多くなりましたが、元気な方が多く、学校のボランティアや防犯パトロールに積極的に参加していただいています。

当自治会では、防災訓練や炊き出し訓練、クラブ活動などが活発に行われていましたが、コロナ禍により活動が制限されていました。しかし、今年度からクラブ活動も少しずつ再開し、先日はゴミゼロ運動を実施しました。

自治会には住民のほとんどが加入していますが、高齢世帯が増える一方、若い世代が持つ自治会の価

値観が変わりつつあると感じています。子育てをしながらの役員は負担が重く、それ以上に高齢の役員の負担は耐え難いものだと思います。負担を軽くするため、役員会で十分話し合い仕事内容を見直し分担して行うようにしています。

高齢世帯が多いゆえに、役員を長年務めていただいた方と現役員が交流を持つことにより仕事内容を共有することができ、困るようなことは個人的には少ないと思っています。ただ、現役世代のイベントへの参加率は低く、自治会の必要性を理解してもらうための術が必要だと感じつつ活動しています。

会長 大金 薫



ペレニアル 花 倶楽部

観葉植物で夏を爽やかに

「夏を爽やかに！観葉植物を楽しむ」をテーマに、7月11日(火)増尾近隣センターで園芸講座を開催しました。受講者は20名、「花を楽しむ教室」主宰の園芸ソムリエ山口まり先生を講師にお迎えしました。

室内で栽培ができ、1年を通じて暮らしの中で楽しめる観葉植物を使い、葉を楽しむ寄せ植えを作りました。使用した観葉植物は、スパティフィラム、セローム、ダイギンリュウ、ドラセナジュレ、トラディスカンティアの5種類です。同じ素材でも作る人により趣の異なる個性あふれる素敵な寄せ植えが出来上がりました。

寄せ植えの作業終了後、山口先生から置き場所、風通し、水やり、追肥、日常の手入れ、植え替えなどの観葉植物の管理についてご指導をいただき、家に持ち帰った後も安心して育てることができました。

ペレニアル花倶楽部は、毎週火曜日午前9時半から11時半、増尾近隣センター駐車場のガーデンで活動をしています。季節の花々に囲まれながら一緒に活動をしませんか。もちろん見学も大歓迎です。ぜひ、お花を見にいらしてください。 ペレニアル花倶楽部 畔蒜 澄子



丁寧に、慎重に、葉を愛でる

二人でクッキング

手作り餃子 おいしかった!

地区社協部

今年の「二人でクッキング」は、7月30日(日)、増尾近隣センター調理室でコロナ前と同じくイートインのスタイルで開催しました。メニューは皮から作る手作り餃子、具たくさんスープ、フローズンヨーグルト。12組24名の親子が参加、近隣の学校の1年生から6年生まで全学年の子どもたちが集まりました。

「子どもとゆっくり料理する機会がなかったので参加してよかった」「同じ班のお姉さんたちと協力して料理を完成したことはとても良い経験でした」「自分で作った料理なので食が進んだ」「餃子はいつも冷凍を使っているのに皮から作るのは初めてでした」「とてもおいしかった」とたくさんのうれしい感想をいただきました。

クッキングイベントを通して、子どもたちの好奇心と親御さんや地域の方々のあたたかいまなざしが感じられる楽しい時間でした。 地区社協部 風間 理恵



餃子の具に挑戦。みじん切り、上手にできたかな

2023 夏祭り

熱く!!



松野台ハッピー夏祭り、長靴公園は子どもで溢れかえりました(松野台自治会 7/15)



初めての土小学校校庭での納涼盆踊り大会。模擬店は賑わい(増尾町会 8/19・20)



加賀夏祭り、いなせな姿で魅せます(加賀町会 8/26)

天気のお話講座

文化体育部

7月23日(日)、増尾近隣センター会議室において「天気のお話講座」を開催しました。参加者は32名、講師は元気象庁職員で現在は「気象コンパス」を主宰する古川武彦さんです。今回はテーマを①竜巻、ダウンバースト、ガストフロント②線状降水帯③等圧線と風の仕組み(地衡風・傾度風・旋衡風)④天気予報の仕組みについて、としてお話を聞きました。

以前、名戸ヶ谷町会地域で竜巻被害がありました。積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい竜巻の場合、被害域は幅数十メートルから数百メートル、長さは数キロメートルの範囲にもなります。

ダウンバーストとは積乱雲から吹き降ろす下降気流が地表に衝突して水平に吹き出す激しい空気の流れのこと。被害地域は円形又は楕円形など面で広がる特徴があり、数十メートルから十キロメートルにも及びます。

ガストフロントは積乱雲の下の重く冷たい空気の塊が、軽く温かい空気の側に流れて発生。水平の広がりや竜巻やダウンバースト以上で数十キロメートルになることもあります。

最近では日本各地で線状降水帯による被害が起きています。メカニズムはどうなっているのでしょうか。①低層を中心に大量の温かく湿った空気の流入が続く②局地的な前線や地形などの影響で空気が持ち上がり雲が発生する③大気の状態が不安定で湿潤な中で積乱雲が発達する④上空の風の影響で積乱雲や積乱雲群が線状に並ぶと線状に強い降水帯が発生する。線状降水帯は日本のどの地域でも起こる可能性があるとも教えていただきました。

現在は、スーパーコンピュータによる精度を増した的確な天気予報が私たちに届けられるようになりました。

文化体育部 小林 みつえ

*「気象コンパス」に興味がある方はご覧ください。
古川武彦[気象コンパス]<http://www.met-compass.com>

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4水曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。

親子のふれあい遊び

ちびっこ体操教室

7月9日(日)、ちびっ子、保護者合わせて30名が増尾近隣センター体育室に集まり、文化体育部主催のちびっこ体操教室「親子のふれあい遊び」を開催しました。この日は梅雨の合間の晴れた日曜日となりました。

講師はお馴染みの石原由紀子先生です。万国旗が飾られた会場で、最初は『とんでったバナナ』やアンパンマンなどの曲に合わせて親と子のリズム体操で十分体をほぐしました。そして遊園地では体験できない、手作り感満載のトンネルくぐり、落っこちない平均台、キャタピラなどの競技をしました。続いて、全員で行ったゲームで盛り上がった後に『トトロの歌』でクールダウン。十分な水分補給をしながらのゆったりとした進行でした。

ゲーム終了後には石原先生から家庭でできる健康体操を教えてくださいました。元気いっぱい楽しんだちびっこ体操教室は無事閉会。帰りにはお土産が配られ、ちびっ子たちは大満足でした。

2歳から3歳は保護者との関わり、4歳から5歳は社会性を身に付け始める大切な時期との学識者の見方があります。核家族化で近隣との関わりも希薄になっている昨今、保護者以外の人と関わるこの行事は、子どもにとって記憶に残る大切な1日になったと思います。今回、参加ができなかった方々も含め来年度開催の折にはぜひご参加ください。



子どものふれあいに親の愛を感じます

文化体育部
寺尾 誠司

ふるさと協議会からのお知らせ

- 10月28日(土)～29日(日) 文化祭
 - 10月28日(土)～29日(日) 防災パネル展
 - 10月28日(土) 地域ふれあいのつどい
 - 11月19日(日) ちいき探検ウォーキング
 - 12月 つくってあそぼ
 - 12月17日(日) 年末夜間パトロール
- ※詳細は、回覧、チラシなどでお知らせします。

近くにホタルが ホタル見学会

文化体育部

今年度の文化体育部主催「ホタル見学会」は6月30日（金）に行いました。雨が心配されましたが、梅雨の合間の穏やかな日に見学会を実施することができました。

今年も「柏ホタルの会」の佐野泰如会長と会員の皆様に見学会場である増尾の森で迎えていただきました。佐野会長からご挨拶をいただいた後、会員の方からホタルを育てる1年間の様子や源氏ホタルと平家ホタルの違いなどの話をお聞きました。そして、ホタルが息している暗い森の中へ。最初は目が暗さに慣れず、手すりをしっかりつかみながら歩きました。入口から少し下るとたくさんのホタルの光が見えました。午後7時半から8時頃が一番見ることができる時間帯だそうです。

若い世代の家族連れ、三世代家族、中高年の方々、文化体育部部員、そして増尾近隣センター高田尚子所長にも参加をいただき、参加者は100名でした。「初めて見ました」「近くまで飛んできたよ!!」「とてもたくさんのホタルが光っていて感激しました」「住んでいる地域でホタルを見ることができてうれしい」などのたくさんの声を聞きました。

少子高齢化の現在、「柏ホタルの会」も高齢の会員が多くなっているとのこと。「柏ホタルの会」主催のホタル観察会では、増尾地域ふるさと協議会も4日間、ボランティアとしてお手伝いをさせていただきました。ホタルの捕獲、飼育、森の整備など「柏ホタルの会」の皆様の活動があってこそこの「ホタル見学会」です。来年も協力し合い実施できることを願っています。

文化体育部 小林 みつえ

増尾地域の5避難所運営委員会 と行政との意見交換会

増尾地域には各町・自治会で指定している避難所が5か所あります。それは増尾西小学校避難所、土小学校避難所、土中学校避難所、中原中学校避難所、柏南高校避難所となります。それぞれの避難所には町・自治会から選出された委員で構成する避難所開設運営委員会が結成され、住民が有事に避難所を利用する際に、少しでも安心安全な避難生活が送れるよう行政との連携も含め開設の手順、運営方法など開設運営マニュアルを作成し、それに基づき開設運営訓練などの活動をしております。

7月8日（土）増尾近隣センターで、5避難所運営委員21名、増尾地域ふるさと協議会役員4名、行政5名（柏市防災安全課、柏市市民活動支援課、柏市教育委員会、増尾近隣センター職員）の計30名の出席で防犯防災部主催の意見交換会を実施しました。

今回はテーマを「避難所運営委員会が活動をする中で抱える諸問題の解決に向けて」として行政との意見交換をしました。①避難所に柏市が設置している防災倉庫の運営について ②防災倉庫の備蓄品の確認 ③避難所と市役所の通信手段である防災無線のデジタル化の進捗について ④避難所と防災対策本部との情報連携の体制 ⑤避難所運営委員会の活動財源の補助金のための認可団体の方向性 ⑥中原小学校の避難所運営について ⑦令和5年度の各避難所運営委員会の災害訓練予定、などについて時間が足りないほど熱心な討議が行われました。

今後も、このような会議を通じ避難所運営委員会、町・自治会自主防災組織との防災意識情報の共有を図っていきます。議事録の詳細は「増尾地域ふるさと協議会ホームページ」をご覧ください。防犯防災部 志水 房夫

ふるさと座談会

「かずミーティング」開催

8月26日（土）増尾近隣センターにおいて、太田和美市長とのふるさと座談会が開催されました。

「かずミーティング」は1年をかけ21のふるさと協議会で行われます。7地域目となる今回は、増尾地域ふるさと協議会での開催となり、県立柏南高校から宮部智哉副校長と真嶋千春事務長、柏市立土小学校から梅津健志校長と永田友教頭、ふるさと協議会役員5名を含めた18

名の参加でした。

最初に大江幹副会長が増尾地域の魅力や今ある課題などをスライドで披露しました。多岐にわたる活発な発言がありましたが、当ふるさと協議会が抱えている学校と行政の在り方やボランティア不足の問題、住民からの増尾地域に特化した質疑や要望にも丁寧に対応をしていただき有意義な時間になりました。総務広報部



増尾地域ふるさと協議会ホームページ

このQRコードから、ふるさと協議会の活動や地域の皆様に役立つ情報などがご覧になります。